



取材のお願い

## ■ 指揮者



©山本倫子

## 小林 研一郎

東京藝術大学作曲科および指揮科を卒業。第1回ブダペスト国際指揮者コンクールで鮮烈な優勝を飾った。2002年「プラハの春」では音楽祭オープニング・コンサートに東洋人初の指揮者としてチェコ・フィルハーモニー管弦楽団と登場した。ハンガリー政府よりリスト記念勲章、ハンガリー文化勲章、星付中十字勲章を授与。国内では文化庁長官表彰、旭日中綬章を受けている。現在、日本フィルハーモニー交響楽団桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団桂冠指揮者、読売日本交響楽団特別客演指揮者、九州交響楽団の名誉客演指揮者等を務めるほか、長野県芸術監督団音楽監督、東京藝術大学・東京音楽大学・リスト音楽院名誉教授、東京文化会館音楽監督の要職にある。

## ■ ヴァイオリン



©studio MaaR

## 瀬崎 明日香

東京藝術大学附属高校を経て同大学を首席卒業。文化庁在外派遣研修員としてパリ国立高等音楽院大学院修了。日本音楽コンクール第1位、L.モーツァルト、ヴィエニャフスキ国際コンクール上位入賞、トリエステ国際室内楽コンクール最高位受賞、フォーバル・ストラディヴァリウスコンクール優勝。欧州、日本全国各地でソロ、室内楽、オーケストラとの共演等で活動を展開。“コバケンとその仲間たちオーケストラ”でコンサートミストレス、株式会社ネイチャーズウェイの環境基金顧問を務める。東京・春・音楽祭、NHK-BS プレミアム、NHK-FM 名曲リサイタル等に出演。秋吉台セミナー、コンクール審査等、後進の指導も行う。ALM コジマ録音よりソロアルバムを3枚リリース。

## ■ 曲目

ヴェルディ：「アイーダ」より「凱旋の行進曲」

サラサーテ：ツイゴイネルワイゼン

シベリウス：交響詩「フィンランディア」

小林研一郎：「パッサカリア」より「夏祭り」

— 休憩（20分） —

ベートーヴェン：「エグモント」序曲

チャイコフスキー：大序曲「1812年」

**■ 響きあうアジア 2019 ガラコンサートの経緯：ASEAN オーケストラ支援事業**

国際交流基金アジアセンターは、2014 年から「ASEAN 文化協力」の一環として、東南アジアのオーケストラを支援するプログラム「ASEAN オーケストラ支援事業」を実施してきました。演奏技術から、楽器のメンテナンス方法、オーケストラの組織運営まで、東南アジアのオーケストラが抱えるさまざまな課題に対し、継続的な技術協力を行ってきました。

**(1) ASEAN オーケストラ支援事業：内容**

- 5 年間で 11 名の演奏家を日本からベトナム・タイ・フィリピンのオーケストラに長期派遣（各 1 年間）。
- 4 年間で 11 名、オーケストラ運営に関わるスタッフを、ベトナム・タイ・フィピン・インドネシアから日本に招き研修を実施。日本のオーケストラの運営状況の視察、各オーケストラが抱える課題に関する意見交換の機会を提供し、マネジメントの側面から、東南アジアのオーケストラの組織強化を支援。
- ミャンマー国立交響楽団音楽監督・山本祐ノ介氏と共に、5 年間で約 140 名超の演奏家や音響スタッフ、楽器リペアスタッフ等をミャンマーに派遣。演奏から楽器のメンテナンスまで、多様な技術協力を実施。
- 2019 年 1 月、山本祐ノ介氏と 10 名のオーケストラ奏者、及び 5 名のスタッフを日本からミャンマーに派遣。ミャンマー国立交響楽団やミャンマーの伝統楽器奏者、日本の邦楽奏者を交えたジョイントコンサートを 2 都市で開催。

**(2) ASEAN オーケストラ支援事業：成果**

- 各国オーケストラの演奏技術の向上や、団員の意識改革の促進、楽器メンテナンスの改善を実現。継続的な支援を通じ、日本と各国の信頼関係を構築。
- 2019 年 1 月にミャンマーで開催されたコンサートには、2 公演合わせて 3,000 名近い観客が来場。ネーピードー公演には、アウン・サン・スー・チー国家最高顧問も来場。
- 日本の被派遣演奏家側からも、「技を超えて心に響く音楽がある」「積極的に音を出し合い、その後協調していく大切さに気づかされた」等、音楽への新たな気づきを得たとの声が多数。

「響きあうアジア 2019 ガラコンサート」では、これまでの支援事業の集大成として、東南アジア 5 개국と日本から、過去の被派遣演奏家を含む総勢約 100 名の演奏家が一堂に会し、特別編成オーケストラとして、共に音楽を紡ぎます。東南アジアと日本の演奏家が互いに学びあい、刺激しあい、「響きあう」ことで生まれる、エネルギー溢れるオーケストラサウンドを、どうぞお聞き逃しなく。



## ■ 東南アジアの参加オーケストラ

ホーチミン市交響楽団 / Ho Chi Minh City Ballet Symphony Orchestra and Opera (32名参加予定)

1994年に設立されたホーチミン市のオーケストラ。オペラハウス専属のオーケストラでコンサートのみならずオペラ、バレエ公演も数多く演奏している。月2回の演奏会、レパートリーも幅広い。アジアオーケストラウィークのため2回来日。2016年シンポジウム『実演芸術で世界とつながる～アジアのオーケストラの事例から』(文化庁主催)にパネリストとして参加。

ベトナム国立交響楽団 / Vietnam National Symphony Orchestra (5名参加予定)

1959年ハノイに設立され60年近くベトナムの芸術文化や社会生活に大きく貢献してきた。お膝元のハノイ国立音楽院から輩出される優秀な人材、また欧米・日本に留学経験のある音楽家によって構成されている。2001年より本名徹次氏が指揮者に就任しオーケストラの発展に寄与し現在は音楽監督を務める。2018年7月の東京公演は天皇皇后両陛下も鑑賞された。

王立バンコク交響楽団 / Royal Bangkok Symphony Orchestra (20名参加予定)

1982年、バンコク交響楽財団が運営するオーケストラとして設立された。以来、国内外でクラシック、オペラ、ミュージカルなどの演奏を提供してきた。アジアオーケストラウィークに2回出演。現国王陛下が2016年11月11日に「王立バンコク交響楽団」への改名を許可。2017年9月日タイ修好130周年記念コンサートを東京で開催。両国の外務大臣が出席した。

フィリピン・フィルハーモニック管弦楽団 / Philippine Philharmonic Orchestra (11名参加予定)

1973年、国立フィリピン文化センターの付属オーケストラとして設立された。2018年創立45周年を迎え、アジア太平洋地域でもトップの音楽集団として広く認められている。1979年、当時のファーストレディ、イメルダ・マルコスがオーケストラを再編「世界第一線で活躍するオーケストラを目指す」という新しいビジョンのもと現在のフィリピン・フィルハーモニック管弦楽団となった。現在の音楽監督は福村芳一氏。

マニラ交響楽団 / Manila Symphony Orchestra (4名参加予定)

1929年設立の自主運営オーケストラ。アセアン地域でもっとも歴史のあるオーケストラである。美術館で定期的に行っているラッシュアワーコンサートでは夕刻のラッシュアワーを避けてコンサートを楽しもうというユニークな演奏活動を行っている。若手の育成にも力を注いでおり、付属のジュニアオーケストラは、2018年ウィーンで開催されたユースオーケストラの国際音楽祭 Summa Cum Laude Youth Music Festival 管弦楽の部で、1位を受賞した。

ミャンマー国立交響楽団 / Myanmar National Symphony Orchestra (3名参加予定)

ミャンマー情報省傘下の国営テレビ・ラジオ局に所属、現在の団員数は約60名。音楽監督は山本祐ノ介氏。国の祭典、政治・外交行事での演奏の他、クラシック音楽の啓蒙・普及活動としてテレビ・ラジオ放送やイベントでの演奏も多い。2019年1月の日メコン交流年記念兼国際交流基金ヤンゴン日本文化センター開設記念のコンサートには、アウン・サン・スーチー国家最高顧問も来場し、国内外で注目を集めた。

ジャカルタ・シティ・フィルハーモニック / Jakarta City Philharmonic (3名参加予定)

インドネシア・クリエイティブ・エコノミー・エージェンシーとジャカルタ・アーツ・カウンシルの共同事業として設立され2016年11月に第1回の演奏会を開催した。年間を通して開催される演奏会は大都市ジャカルタの文化行事として定着している。レパートリーはインドネシアの作曲家から西洋クラシック、ミュージカル等幅広い。

ジャカルタ・シンフォニエッタ / Jakarta Sinfonietta (3名参加予定)

音楽院を併設する自主運営のオーケストラ。室内オーケストラから大編成までプログラムに応じて対応している。ジャカルタ市内の大小二つのホールを本拠地とし定期公演を開催している。

## ■ チケット情報

【一般発売】：4月8日（月）

S席 3,500円 / S席ペア（2枚）6,000円 / A席 2,500円 / B席 1,500円

学生 1,000円（対象席種：A席） / ハンディキャップ割引 1,000円（全席指定・税込）

\* 学生チケットは小学生から大学生・専門学生が対象となります。

\* ハンディキャップ割引チケットは日本オーケストラ連盟のみお取り扱い。障害者手帳をお持ちの方が対象となります。

\* コンサートは小学生からご入場いただけます。なお、託児サービスがございますのでご希望の方は下記にお申し込みください。

<HITOWA キャリアサポート株式会社 わらべうた>

電話 0120-415-306（土・日・祝祭日を除く平日、午前9時から午後5時まで）

ご予約の際「東京芸術劇場の託児予約の件で」とお問い合わせください。

\* やむを得ない事情により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

\* 公演中止の場合を除き、ご予約・ご購入いただきましたチケットのキャンセル・変更はお受けできません。

【チケット取扱い】 日本オーケストラ連盟 03-5610-7275（平日 10:00-18:00）

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

（ナビダイヤル／休館日を除く 10:00-19:00）

チケットぴあ 0570-02-9999 Pコード：146-563

イープラス e+ <http://eplus>

ローソンチケット 0570-000-407 Lコード：33414



### ■「響きあうアジア 2019」について



「響きあうアジア 2019」は、設立 5 年を迎える国際交流基金アジアセンターが、日本と東南アジアの文化交流事業を幅広く紹介する祭典で、主に 2019 年 6 月から 7 月にかけて開催する。国を超え共に創り上げた舞台芸術や映画から、東南アジア選手による混成サッカーチーム「ASIAN ELEVEN」と日本チームとの国際親善試合、“日本語パートナーズ”のシンポジウムまで、お互いの文化が刺激しあって生まれたイベントで構成される。国際交流基金アジアセンターがこれまで 5 年にわたり行ってきた相互交流の成果を振り返るとともに、日本と東南アジアとの関係をさらに深めるための起点となることが期待される。なお、「響きあうアジア 2019」は、同年に東南アジアでも展開予定。